

視聴覚教育

NO. 337

発行日

19.11.9

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

小中学校視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部研修部会

学習情報部研修部会では、平成19年7月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」の三項目である。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育(第39号)』に掲載されるが、ここではその概要を述べる。利便性や汎用性の面から、ここ数年でデジタル化が急速に進展し、「購入を希望している機器」の上位は、ほとんどデジタル機器が占めた。そのため、現状の保有状況を把握し、今後の機器購入の際の目安とするため、主なデジタル機器の1校あたりの平均保有数を出してみた。(表1)

平成16年度と比較すると特にDVDプレーヤーの増加が顕著であることが分かる。ビデオ教材はまだVHSが主流といえるが、D

主なデジタル機器の平均保有数【表1】

機器名	小学校	中学校	総合
DVDプレーヤー	1.4	4.5	2.1
DVDレコーダー	0.3	0.9	0.5
デジタルビデオカメラ	2.8	3.7	3.0
デジタルスチルカメラ	21.5	25.1	22.4
MD付ラジカセ・コンポ*	5.4	5.3	5.4
プロジェクター※	2.1	2.1	2.1

※パソコン対応のもの

平成16年度との比較(市内合計数)【表2】

機器名	H16	H19	伸び
DVDプレーヤー	35	180	5.1倍
デジタルビデオカメラ	117	245	2.1倍
デジタルスチルカメラ	1,178	1,623	1.4倍
MD付ラジカセ・デッキ	207	425	2.1倍
プロジェクター※	91	179	2.0倍

※パソコン対応のもの

視聴覚用語
「スクリーンキャプチャ」
 ディスプレイに表示されている画面イメージを画像ファイルとして保存したり、クリップボードにコピーしたりする機能。「Print Screen」キーを利用するとそのまま画面をキャプチャできる。

因として考えられる。その他のデジタル機器は、およそ二倍弱程度の増加であった。デジタルビデオカメラやプロジェクターは、各校でおおむね最低必要数を満たしてきていると思われる。

(表2)

次に「購入を希望している機器」では、デジタル一眼レフカメラ、デジタルボード、外付けのドライブ(HDDやDVD-RW)の要望が多い。「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」では、HDD+DVD+VHSのトリプルデッキやネットワークHDDが多かった。

今後の備品購入や行事等での機器利用において、不足分を借用する場合などの参考にしていただきたい。

|| 視聴覚あれこれ ||

第11回視聴覚教育総合全国大会

の開催

第58回放送教育研究会全国大会

10月26日(金)・27日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センターにて、第11回視聴覚教育総合全国大会と第58回放送教育研究会全国大会が行われた。岡崎市からは、藤川小学校の本田辰美教諭と井田小学校の内田雅之教諭が、それぞれ研究部会の提案者として実践発表を行った。



実践報告Ⅱ

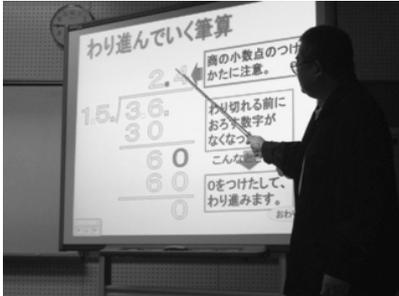
パワーポイントを使った教材の自作

矢作東小学校 岩瀬 富雄

パワーポイントを利用して、五年算数科の教材を作成した。内容は、「小数のかけ算・わり算の筆算のしかたを解説する」というものである。教科書の例題が実際に動いて提示されるので、小数点のつけ方等が視覚的に確認でき、子どもたちに好評であった。授業後の反省でも、「よくわかったよ。」という声が多くあがった。

パワーポイントは、「アニメーションの設定」機能を使うことにより、文字や図を好きなタイミングで出現させたり動かしたりできる。この機能は、子どもたちに対し提示内容を印象づける効果がある。また、教師側にとっては、この機能があることで、さながら「オーバーレイを用いたTP教材」を作成するような感覚で教材を企画することができるといえる。

市販教材の中にも似たようなものは存在するが、自作教材のよさは、教師が扱いたい問題そのものを教材化できることにある。この点をふまえ、扱いの容易なパワーポイントを中心に、本校独自の自作教材の充実を図れたらと考えている。



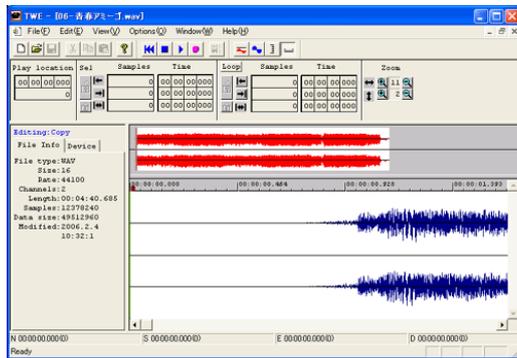
Ⅱレッツ・トライⅡ

ウェーブエディターTWEで編集しよう

ICレコーダのおかげで、気軽にいろいろな音を録音できるようになった。例えば、社会科の授業での討論、国語の朗読、音楽の合唱など。そういった様々なデジタル録音された音声データをパソコン上で再生・編集することが気軽にできるのが、YAMAHHAのフリーソフト「ウェーブエディターTWE」である。

このソフトの便利などところは、音声データが波形で画面に現れ、フェードインやフェードアウトはもちろん、ノイズの削除、曲の一部だけをつないでいく、逆にくり返すなど、カット&ペーストで簡単にできる。映像データのノンリニア編集と同じような感覚で、音声データを自由に編集できる。

先日も、作文の朗読をそれぞれ別取りしたもの、一枚のCD作品として仕上げる事ができた。今後も学校生活のいろんな場面で使ってみようソフトである。



(竜海中学校 学習情報主任 佐渡英彰)

ライブフリーだよ

●おめでとぅーございます！

平成19年度視聴覚教育各地功労者

藤井 孝弘様 (前教育長)

財団法人日本視聴覚教育協会による平成19年度各地功労者として、前教育長・前視聴覚ライブラリー所長の藤井孝弘様が表彰されました。この賞は、多年にわたる学校および社会教育における視聴覚教育の振興に対する功績が認められたものです。

●第5回ふるさと岡崎

メディアコンクール作品募集!

今年度の「ふるさと岡崎メディアコンクール」の作品募集の受付が、11月19日(月)から始まりです。締め切りは12月7日(金)です。生涯学習部門、学校教育教材部門、児童生徒作品部門の3つの部門を設けています。多くの作品の応募をお待ちしています。

第5回 ふるさと岡崎メディアコンクール
地域に密着した皆さんの自主制作作品を募集します。

募集期間
平成19年11月19日(月)～12月7日(金)
平日：午前8時30分～午後5時15分
土曜日：午前8時30分～午後0時30分
郵送での応募も受け付けます。

応募先
岡崎市視聴覚ライブラリー
〒444-8601
岡崎市宮生町一丁目3番地1
(市役所西庁舎南隣 岡崎市情報ネットワークセンター)
TEL0564-23-6782

募集部門
① 生涯学習部門
② 学校教育教材部門
③ 児童生徒作品部門

テーマ
自由(生涯学習の学習教材又は学校教材となるもの)

利用メディア
ビデオテープ S・VHS VHS Hi8 8ミリビデオ DV等
マルチメディア FD CD MO DVD等

主催 岡崎市視聴覚ライブラリー